

県会議員 奥村のり子の
読者ニュース

2018年7月8日 第319号

——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
☎ & FAX 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



6月議会での補正予算について

6月29日に定例会が閉会しました。補正予算2億7千9百万円余計上、土砂災害への緊急対応や外国人誘客のための国際チャーター便運航支援、南紀白浜空港の民営化のための公共施設等の運営権の設定に伴う運営経費や管理者を公募する公の施設の管理経費等についての債務負担行為の設定です。空港の民営化については以前反対をしていますが、今回は建設事業施行に伴う市町村負担金のみ反対しました。

毎議会、団として意見書の提案に取り組み努力をしています。前議会は国保の問題で提案し、改新・無所属の会派の賛成を得ることができましたが今回は「朝鮮半島の非核化と平和体制構築のための役割を果たす」として意見書の提案に取り組み努力をしています。前議会は国保の問題で提案し、改新・無所属の会派の賛成を得ることができましたが今回は「朝鮮半島の非核化と平和体制構築のための役割を果たす」として意見書の提案に取り組み努力をしています。

県高校生奨学金の
申請受付開始について

奨学のための給付金（和歌山県高校生等奨学給付金）の申請受付開始されます。この事業は、高等学校等に在学する高校生等が、低所得（非課税等）世帯で、授業料以外の教育に必要な経費を負担する保護者等に対し、返還の必要のない「奨学のための給付金」を支給することにより、保護者等の教育に係る経済的負担の軽減を図り、もって教育の機会均等に寄与することを目的とされています。申請期間は7月2日から31日までです。みなさんの運動で



和歌山県母親大会です。午前の分科会には約600名、午後の全体会には約400名の参加です。

議会の一般質問

先月27日、2018年度6月定例市議会が終了しました。

今回の一般質問では、以前も取り上げた、学校司書の配置を改めて求めました。前回の質問では、学校司書の配置された学校では、子ども達の図書館利用が拡大した事や学習意欲の向上に繋がっている事から、配置を進めるよう求めました。

市は、「効果的・効率的な配置を検討」と、答えました。

しかし、この間の運用は、転任を繰り返すだけで学校司書の人数は増えていません。

子ども達の読書活動を支える事は、学校司書に求め

子どもたちが読書に親しむよう学校司書の増員を

られる重要な役割です。そのためには、子ども達と日常的に接して、会話や本の感想を交わしながら、本を読む速度や理解力があるなど、しっかりと把握しなければなりません。

そのためには、やはり常勤の学校司書の配置が求められます。

また、ボランティアの方との連携するとの答弁がありました。

ボランティアの方が図書館の環境整備などに、忙しい中で大変なご尽力を頂いていますし、本に精通した方もいらっしゃるかもしれません。

しかし、どの地域にでもそうした方がいらっしゃるとは限りません。市がしっかりと責任を持って配置する必要があります。

党市議会議員
中村あさと



次号は都合によりお休みとさせていただきます（編集室）

のり子の週刊日誌(主なもの)

- 7月6日 市駅前・宇治交差点朝宣伝 10時生活相談 地域訪問 医療関係者後援会世話人会
- 7日 西・河北・河西後援会決起集会 街頭宣伝
- 8日 会議 平和大好きマラソンEndウオーク
- 9日 河西事務所無料生活相談 地域訪問 懇親会
- 10日・11日 休み
- 12日 市駅無料生活相談 団会議 地域訪問

米朝首脳会談後の日本政治の変化は、
もつ「北の脅威」言えないアベ氏は引退を

米朝首脳会談を受けて日本政治で動き始めたのは、北朝鮮のミサイルから守るため陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の導入を昨年12月に閣議決定。秋田県と山口県の陸自の演習場に予定。しかし秋田県佐竹知事は「本件事案は北朝鮮との緊張関係が高まった時点の発案だ。配備が数年先になることを考慮すると、真に最適候補地なのか」と、6月22日訪問した小野寺防衛相に迫りました。防衛相は北の脅威を強調したがるみは外れ、自民党の県議にも疑問をだし、今や「オール秋田」で反対とのこと。山口県でも演習場に隣接する阿武町の町長が「現時点では賛成できない」と6月28日表明。

アベ首相はどの政権よりも「北の脅威」を利用して政権

延命と「海外で戦争する国」づくりを進め、20年までに憲法9条改悪を明言した際も「北朝鮮をめぐる情勢」を理由にし、集団的自衛権行使容認の閣議決定や安保法制「戦争法の強行、さらに軍事費は4年連続で過去最高を更新。その口実づくり」に「北はありがたい存在」でした。

「ミサイル防衛」網の整備に2兆円以上費やしても何も役立たず。日本海に常時配備した海自のイージス艦の常時展開も6月下旬から解除。1基1000億のイージス・アショア配備の根拠も揺らいでいます。政府は年内に防衛大綱を作成するが「北の脅威」が揺らぎ混乱必至と言われます。アベ首相は米朝友好ムードに水を差す事もできず、お役ごめんですから引退して下さい！（編集室）

実現してきましたが、さらに拡充を求めています。きましよう。